

アクセス

- 飛行機利用 AIRPLANE**
東京(羽田)→ANA→庄内空港【約1時間】
- JR利用 TRAIN**
東京→上越新幹線・羽越本線【約4時間】
東京→山形新幹線・陸羽西線【約4時間30分】
- 自動車利用 CAR**
酒田中央ICから酒田港まで約10分
仙台→東北自動車道・山形自動車道【約2時間30分】
東京→東北自動車道・山形自動車道【約6時間30分】
東京→関越自動車道【約6時間30分】
- 高速バス EXPRESS BUS**
東京→酒田【約9時間】 大阪・京都→酒田【約12時間50分】 山形→酒田【約2時間30分】
仙台→酒田【約3時間】 仙台空港→酒田【約3時間50分】



酒田港から飛島へ

定期船「とびしま」は、総トン数253トン、定員230名、総アルミニウム合金製で、酒田港から飛島までの約39Kmを20.5ノット、1時間15分で結んでいます。船内はバリアフリーで全席自由席です。2階の展望デッキでは、爽やかな風と日本海から眺める酒田や鳥海山の絶景が満喫できます。

お問い合わせ

【観光全般】酒田市交流観光課 TEL.0234-26-5759 FAX.0234-22-3910
 【観光・宿泊】(一社)酒田観光物産協会 TEL.0234-24-2233 FAX.0234-24-8350
 【観光ガイド】酒田市観光ガイド協会(酒田駅構内) TEL.0234-24-2454 FAX.0234-24-2454
 鳥海山・飛島ジオパークガイドの会 TEL.0184-62-9777 FAX.0184-62-9778

ホームページ
 【酒田市】http://www.city.sakata.lg.jp/
 【(一社)酒田観光物産協会】http://sakata-kankou.com/

定期船乗船お申し込み・お問い合わせ
 【酒田市定期航路事業所】
 酒田市船場町2-5-6 TEL.0234-22-3911 FAX.0234-22-3912



H31.3発行

飛島 勝浦地区 案内図



- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| A 民宿/波止場荘 ◆ TEL.96-3178 | I 旅館/中央旅館 TEL.95-2036 |
| B 民宿/美島屋 TEL.090-7067-0245 | J 民宿/あづま荘 TEL.95-2102 |
| C 民宿/日本海 ◆ TEL.95-2206 | K 旅館/沢口旅館 ◆ TEL.080-2805-5686 |
| D 旅館/港旅館 TEL.96-3103 | L 民宿/勝浦荘 ◆ TEL.96-3151 |
| E 旅館/旅館おばこ ◆ TEL.96-3036 | |
| F 民宿/みのり荘 ◆ TEL.95-2153 | |
| G 民宿/大福 TEL.96-3132 | |
| H 旅館/おらが海の家 ◆ TEL.96-3123 | |
- ※市外局番は0234です ★は磯渡しがある宿です
 ◆は遊覧船がある宿です ●は船釣りがある宿です
 ▲は昼に定食(魚介)を出す宿です ※宿泊については各宿泊施設にお問合せください

旅館・民宿では

イカ、メバル、トビウオ、サザエ、アワビなどの豪華な旬の海の幸をご堪能ください。



食堂では

トビウオだしをたっぷり使ったラーメンや飛島の海産物やごどもなどを使ったカレーなどが楽しめます。お土産は、自家製のイカの一夜干し、塩辛、サザエの塩辛、トビウオの加工品が人気です。

- | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|----|----|--------|----|-----|-------|--------|------------|-----------|-----|
| 車道 | 歩道 | 階段 | 悪路 | 距離間(m) | 灯台 | 展望台 | 天然記念物 | 釣のポイント | 案内標識 | 待ち合わせポイント | トイレ |
| (自転車は通れません) | | | | | | | | | 1~82 (要予約) | 1~2 | W |
- とびしまマリンプラザ① 通年 山グラウンド協公衆トイレ63・4~11月
 飛島海水浴場 4~9月 八幡崎公衆トイレ② 4~11月
 農友農道沿い公衆トイレ③ 4~11月 とびしま総合センター 通年(平日のみ)

- 島内案内**
- ①島の駅とびしま(観光窓口・土産) TEL.96-3800
 - ②西村食堂(ラーメン・無料貸出自転車) TEL.95-2133
 - ③カフェスペースしまかへ(軽食) TEL.96-3800
 - ④村井商店(土産) TEL.95-2155
- ※市外局番は0234です

- ダイヤル案内**
- ①定期航路飛島連絡所 TEL.96-3011
 - ②酒田市とびしま総合センター TEL.95-2001
 - ③飛島駐在所 TEL.95-2015
 - ④飛島診療所 TEL.95-2021
 - ⑤飛島郵便局 TEL.95-2050
 - 海上保安庁(海の事件・事故は) TEL.118
- ※市外局番は0234です

鳥海山・飛島ジオパーク



飛島

日本海に浮かぶ不思議アイランド
 【山形県酒田市】





飛島は絶好の釣り場です。

飛島の釣り

飛島には、全国から多くの太公望が訪れ、御積島周辺と烏帽子群島、二俣島などの岩場や船釣りで大形のマダイ、クロダイ、メジナなどを釣り上げています。防波堤や港内でもアジ、アイナメ、ウミタナゴなどが釣れます。



船渡しで釣れたマダイ



01「烏帽子群島」 02「海づり公園」大人から子供まで手軽に安全に海釣りを楽しめます。釣れるのは、アジ・ウマツラ・イシダイなどです。釣竿の持ち込みは自由ですが、無料貸し出し竿も準備されています。(エサの有料販売あり。)

飛島で釣れる魚					
1~2月	3~4月	5~6月	7~8月	9~10月	11月~
メダイ・ヤリイカ	スルメイカ	アオリイカ			
タラ	メバル				メバル
	カレイ	アジ			アジ
	アイナメ・メジナ				
	タナゴ				
	マダイ				
	クロダイ				
	イシダイ				
	コブダイ				



飛島の海岸には魅力がいっぱい。

飛島の海岸

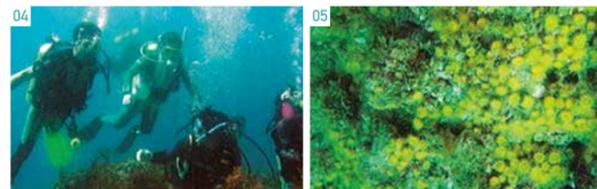
小松浜海水浴場は、自然の入り江で波も穏やか。透明な海ときれいな砂浜は、安心して遊べる人気のスポットです。海岸ではローソク岩や貝殻でできた浜(シェルビーチ)、遠浅の海食台などの景観が広がります。



小松浜海水浴場



01「遊覧船」 02「ローソク岩」 03「マンモス岩」
島には、遊覧船として運航する船があります。御積島を巡る40分コース、飛島を一周する1時間半コースがあり、御積島や烏帽子群島の島を間近に見ることができます。遊覧船は、旅館、民宿で紹介してくれます。海岸遊歩道ではマンモス岩やローソク岩などのおもしろい風景を楽しむことができます。また、ゴト口浜の崖では海底火山がくりかえし噴火をしたときの地層が見られ、島の周りには海が削って平らになった海食台が広がっています。飛島の海食台は日本でも有数の広さをほこるジオパークらしい貴重な景観です。



04「スキューバダイビング」島内の遊覧船を利用し、御積島周辺で楽しむことができます。(初夏には、産卵のために訪れるドチザメを観察することができます。) 05「サンゴ」勝浦港南東部に突き出る館岩周辺には、暖流の影響で、日本海側に生息する「ムツサンゴ」が大群落を形成し、東北では珍しい「オノミチキサンゴ」が見られます。



飛島は、渡り鳥の中継地です。

飛島の野鳥

飛島は、渡り鳥の中継地(休息地)としても有名です。春と秋には、中央アジアやヨーロッパ方面から珍鳥・迷鳥がやってきます。普段は木の上や藪などにいる野鳥が羽根を休める姿を比較的簡単に観察することができます。



ヤツガシラ(3月下旬~5月上旬)



キビタキ(4月下旬~5月上旬) シラガホオジロ(10月上旬) ヤマビバリ(10月下旬~11月中旬)



コホオアカ(4月下旬~5月中旬、9月下旬~11月上旬) カラスバト(3月下旬~11月中旬) ハヤブサ(通年)



01・02「ウミネコ」飛島はウミネコの繁殖地として、国の天然記念物に指定されています。4月から繁殖に入り、百合島、御積島と烏帽子群島、寺島で集団で営巣します。名前の由来でもあるネコのような「ミャーオ、ミャーオ」とにぎやかな鳴き声が島内に響き渡ります。7月には幼鳥が巣立ち、8月には飛島を離れていきます。



飛島は、植物の交差点です。

飛島の野草

飛島の名をつけた「トビシマカンゾウ」は、高山植物の「ニコウキスゲ」が海浜環境に適したものとされ、初夏に大型の鮮やかな黄色い花をつけます。海岸近くや日当たりのよい場所に咲き、酒田市の花に指定されています。



トビシマカンゾウ(6~7月)



キクザキイチゲ(3~5月) カワラナデシコ(7~10月) クルマユリ(7~8月上旬)



オオバナノミノナグサ(5~6月) ハマエンドウ(4~7月) ヤブミョウガ(8~9月)



01 荒崎部の植物群落…スカシユリの群落 02 トビシマカンゾウの群落
荒崎に続く遊歩道をおりると西海岸に突き出た岩場に出ます。海岸沿いには、初夏のスカシユリに始まり、トビシマカンゾウ、オニユリなどのユリ科の植物群落が次々と花を咲かせ、烏帽子群島と御積島、西海岸を借景に美しい景観を作り出します。



飛島の景観にほっとひと息。

飛島の景観

海岸線に広がる日本海や鳥海山の風景、高台の展望台から望む周辺の島々の景観は、時がたつのを忘れてさせてくれます。御積島の方向に沈む夕日、鳥海山の方向から昇る朝日の美しさに心が洗われます。



館岩から飛島を望む



巨木の森 タブノキ



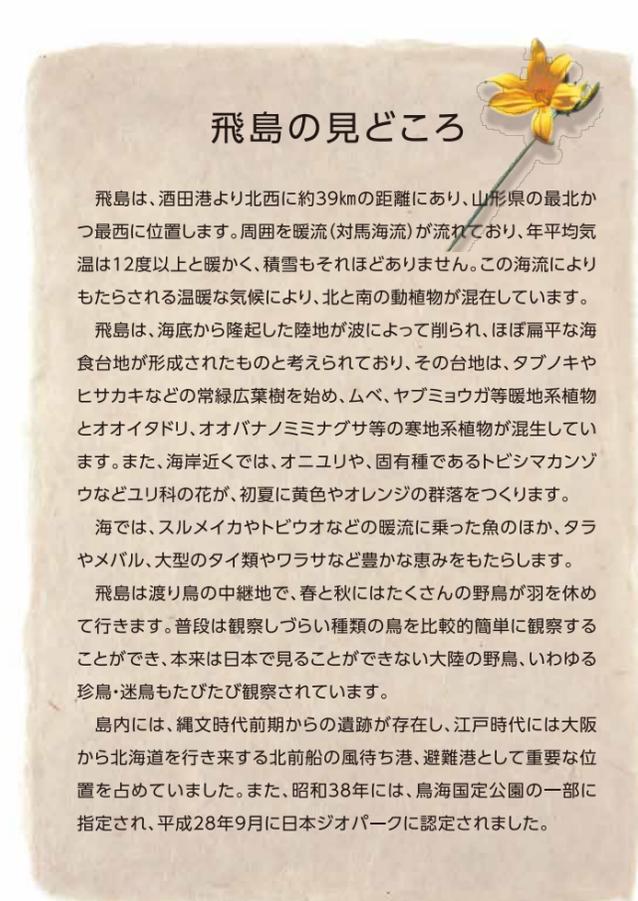
南灯台と御積島に沈む夕日

夏の荒崎



渚の鐘

オニユリと西海岸



飛島の見どころ

飛島は、酒田港より北西に約39kmの距離にあり、山形県の最北かつ最西に位置します。周囲を暖流(対馬海流)が流れており、年平均気温は12度以上と暖かく、積雪もそれほどありません。この海流によりもたらされる温暖な気候により、北と南の動植物が混在しています。

飛島は、海底から隆起した陸地が波によって削られ、ほぼ扁平な海食台地が形成されたものと考えられており、その台地は、タブノキやヒサカキなどの常緑広葉樹を始め、ムベ、ヤブミョウガ等暖地系植物とオオイタドリ、オオバナノミノナグサ等の寒地系植物が混生しています。また、海岸近くでは、オニユリや、固有種であるトビシマカンゾウなどユリ科の花が、初夏に黄色やオレンジの群落をつくります。

海では、スルメイカやトビウオなどの暖流に乗った魚のほか、タラやメバル、大型のタイ類やワラサなど豊かな恵みをもたらします。

飛島は渡り鳥の中継地で、春と秋にはたくさんの野鳥が羽を休めて行きます。普段は観察しづらい種類の鳥を比較的簡単に観察することができ、本来は日本で見ることができない大陸の野鳥、いわゆる珍鳥・迷鳥もたびたび観察されています。

島内には、縄文時代前期からの遺跡が存在し、江戸時代には大阪から北海道を行き来する北前船の風待ち港、避難港として重要な位置を占めていました。また、昭和38年には、鳥海国立公園の一部に指定され、平成28年9月に日本ジオパークに認定されました。

▶ 地質・地形

飛島は日本海を南北に連なる海底山脈の頂上にあたります。海底火山から吹き出した噴出物が海底に積み重なり、盛り上がりながら波や風雨に削られて現在の姿となりました。飛島のいたるところで大地と海の営みによってできた地形や風景をみることができます。

南と北の動植物が同居する特徴的な生態系、海を生業とする人々によって培われた漁村の生活や文化も見どころです。

「大地・自然・文化」の多様性を意識しながら飛島を散策してみたいかがでしょう。きっと新しい発見に出会えるはずです。

▶ 歴史

島内には、約6千年から4千年前の縄文遺跡が3つあります。北陸から北東北にかけて出土する種類の土器が発掘されており、古くから海を介した交流があったことがうかがえます。

島は平安時代から江戸時代にかけて、安部氏、仁賀保氏、最上氏、酒井氏等の所領となり鶴路島(つるじのしま)、潮島(うしおじま)、豊島(とよしま)、とど島などと呼ばれ、今から約400年前の江戸時代に現在の飛島という名前になりました。

Geopark

History